

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	1	100年、200年先の子どもたちのためにも、浜岡原発の廃炉を訴えてほしい。	（市長） 現実的に、浜岡原発の再稼働は極めて難しいと考えています。政府も、今まさにSDGsに取り組んでおり、これは環境にも配慮することに注力した計画です。技術革新も重要ですが、こうした風潮は、これからどんどん広がると思います。原発の所管をしている中部電力の企業判断を見守っていきたいです。	—
	2	市内各所に設置されている点字ブロックの位置がばらばらである。全国に先駆けて、こうしたところを改善してほしい。	（市長） 本市は、男性、女性、性別、世代、ハンディキャップを超えて、外国人も含めた共生都市を目指しています。担当職員を派遣するのでどのように使いづらいのか教えてください。まずは、現地調査をさせていただきます。	（葵南道路整備課） 5月15日にご意見者様と現地立会いを実施し改善内容を確認しました。 【県道静岡清水線】誘導ブロックの一部配置改善及び 【市道城内2号線】歩車分離区画線の設置を実施しました。（6月4日完了）
	3	“きれいな川”を政策の重点項目に掲げてもらえないか。	（市長） 本市は、安倍川の伏流水に恵まれた都市であり、全国の中でも水道水がおいしいまちです。こうした実績はありますが、これをどう見せていくかという施策は、今の提案を参考にしていきたいと考えます。	—
	4	駿府城公園の外堀の復活を考えてもらえないか。	（市長） 外堀は埋まっているので、まずは内堀を整備することから着手していきたいと考えています。	—
	5	お堀の水質はどうであるか。	（美濃部副市長） 静岡の水は基本的にきれいですが、水がゆっくり流れ、たまっているとプランクトンが発生して濁ってしまいます。しかし、富栄養状態ではないため、不愉快なおいを発生させるものではありません。まちなかの川についても、草刈りなどの作業をしてくれている方もいます。水をアピールできるまちにしていきたいです。	（環境保全課） 中堀は、植物性プランクトンが多いため、普段から緑色をしています。夏場は特に活動が活発になり多く発生するため、緑色が濃くなりますが、汚れの指標であるBODは、直近10年の平均で2～3程度であり、比較的よい水質を維持しています。毎年2回（夏冬）水質検査を実施し水質を監視しており、今後も継続していきます。

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
葵 (5/12)	6	東海道の伝馬町からお城へのルートがわかりづらい。道路の色を、黒ばかりでなく、少し茶色にするなど、工夫できないか。	（市長） 駿府城は、平成31年度に発掘調査を終えます。その後、財政状況も考慮し、民間資金も入れながら、どうしていくか考えていきます。	—
	7	静岡は案内板が少ない。観光に力を入れるのであれば、もっと力を入れてほしい。	（市長） 平成31年1月に、街道観光の全国大会を誘致しました。これに向けて、現在、案内板の準備をしているところです。	（観光・国際交流課） 観光案内板は東海道沿いの各宿場のものを順次修繕していく予定で、平成30年度は由比宿・丸子宿を実施する予定です。
	8	静岡駅北口を出ると、まず、バスターミナルがあるが、どの（観光地の）駅もタクシーがメインである。これについて検討してほしい。また、駅前の駐車場拡張を検討してほしい。	（市長） 静岡駅については、私が市長になる前に今の形となっており、課題が出ていることは承知していますが、静岡駅前では今からやるのは難しいです。そのため、この課題を安倍川駅周辺整備に活かしました。ご意見として受け止めさせていただきます。	—
	9	動物園の象について。2頭のうち1頭はかなり高齢と聞いている。動物園は象が大切。象を大事にしてほしい。	（市長） ワシントン条約の規制が厳しくなっていますが、タイの大使館を通じて寄贈してくれるところを探しています。なんとか、引き入れたいと考えています。	—
	10	静岡駅北口に竹千代像があるが、今川像などをおいてストーリー性を持たせてほしい。	（市長） 今川生誕500年祭について、行政と経済界で連携しているところです。どのような事業を展開していくのかは、今後検討していきます。	—
	11	大道芸がさらに発展していくよう、清水まで広げて展開してほしい。	（市長） 大道芸については集客力を高めていきたいと考えています。5大構想の1つに、「まちは劇場の推進」を掲げています。これは、大道芸の賑わいを一年を通じたものにしたらどうか、という意見に端を発した取組です。そういう意味では、大道芸という文化を大切にしていきたいと考えています。	（まちは劇場推進課） 大道芸ワールドカップ開催期間中において、エスパルスドリームプラザをサテライト会場としてすでに実施しております。

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	12	建穂寺を目に見える形で整備してほしい。現状は火災報知器もついていない状況である。	（市長） 建穂寺については、地域の方からも要望を受け賜っています。今後、静岡まつりと廿日祭の距離を縮めていくという流れがあり、自治会と一緒に取り組んでいます。この流れの中で建穂寺をどう保存していくか検討していきます。	—
	13	駿府城の坤櫓（ひつじさるやぐら）を365日公開できる仕組みを作してほしい。	（市長） 坤櫓（ひつじさるやぐら）の月曜閉館はお許しいただきたい。経営的にも赤字となっています。今後、駿府城全体をどういう風に盛り上げていくべきかについて考えていきたいです。	—
	14	静岡はお茶のまちと言われているので、駅に降り立った際に、お茶の香りがしてほしい。	（市長） 新幹線の改札を登った東海軒の側に、お茶の香りをまく機械を設置しています。また、本市が助成をして、お茶タクシーのラッピングをしています。静岡駅北口の地下に一茶という喫茶店があるので、こちらも活用してください。	—
	15	富士市のように、静岡市にも平和都市に関するイベント頑張してほしい。	（市長） 265年にわたる天下泰平の世を作った徳川家康の居城を持つ本市だからこそ、平和のアピールができると考えています。そういった視点で、歴史文化拠点とSDGsを結び付け、PRしていきます。	—
	16	市長に当選した際、プロ野球チームの誘致を掲げていたが、野球を生かしたまちづくりが後退しているのではないか。	（市長） 野球王国静岡にも、草薙球場を本拠地としたプロ野球球団を発足させるため、現在、新潟市等の関係市と一緒に動いています。プロ野球球団の創設には、スポンサーをきちっと準備しなければなりません。その準備を今、進めているところです。	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
東部 (5/19)	17	麻機地域には刑務所があるが、麻機の観光、発展とは縁が無いいため、他へ移設した方がいいのではないか。	（市長） 刑務所は、元々は市民文化会館の辺りにありましたが、まちの中心から郊外へという動きの中で、今の場所に移りました。当時は田んぼしかありませんでしたが、郊外が宅地化され、竜南地区が発展し、都市型の地域になってきました。これに刑務所が囲まれてきている状況となっています。 一方で、共生も大事であると考えています。静岡刑務所は、軽い刑期の方々であり、お互いの立場を理解し合うというマインドも、成熟社会には求められるのではないかと思います。	—
	18	麻機地域では、県が遊水地事業を行っている。人が集まる施設を作ったほうが良い。見学する場、学ぶ場、食事をする場。地域の歴史を学べる資料館を造っていただきたい。	（市長） 第1工区にビクターセンターをオープンし、麻機の自然や文化に触れあえる場として整備していきます。 千代田、麻機地区の地域の皆さんと一緒に考えていきたいです。	—
	19	麻機遊水地について、10数年間、県の土木事務所との話し合いを続けてきたが、市の河川課長や担当部長に会ったことは無い。麻機の整備に市がもっと積極的に関わってほしい。	（市長） 政令指定都市に移行して12年経過しますが、河川行政は、これまでも県に委ねていました。引き続き、県の土木事務所がその役割を担う部分もありますが、政令指定都市の職員として、一度ひざを突き合わせさせていただきます。  （美濃部副市長） 水を貯める機能の整備は県の権限であり、これに係る土地の取得も県の権限です。 治水をやってもらいたい、という想いは市の当局も同じです。県が土地を買いに行く際、市への要望も出ることもあり、迅速な対応も大切ですので、市の職員も一緒に伺うようにしたいと思います。	（河川課） 県事業の円滑な進捗に加え、多様な住民意見を反映していけるように、これまで以上に積極的に関わっていくことを後日、ご意見者様に説明し了承を得ました。
	20	静岡市には世帯台帳が無いのか。災害時に非常に危険ではないか。	（小長谷副市長） それぞれの町内会ごとに世帯台帳を作っているかと思いますが、詳細については、後ほどお伺いします。	（市民自治推進課） 平成30年2月2日付けで静岡市自治会連合会長名にて、個人情報保護法改正に伴う個人情報について、適正な取得、安全管理等を遵守し取扱いする旨の依頼文を各自治会長・町内会長あてに送付し、適正な取扱いをお願いしています。

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	21	お堀の水が汚いのが気になった。水質の整備はどう考えているか。	（環境局長） 以前、関係局で委員会を組織し、水の調査を実施した際、水質を表すBODは、平均して2～3でした。水としては、悪い状態ではないです。	（環境保全課） 中堀については、毎年2回（夏冬）水質検査を実施し水質を監視しており、今後も継続していきます。
	22	全国に例のない英語教育に踏み出してほしい。	（市長） 小学校の段階からの英語教育には、これから力を入れていきたいと考えています。民間の方を募り、GET（グローバルイングリッシュティーチャー）を約30名採用し、公立小学校に派遣しています。独自の指導により、英語教育を展開していきたいです。	—
	23	郊外でもいいので、遊園地的なものが欲しい。	（市長） 民間の考えがあれば、最大限の協力をしていきたいです。	—
	24	市街地でない緑をオクシズに求めるために、アクセスを整備すれば、オクシズの活性化につながるのではないか。	（市長） まずは、交通アクセスの整備が大事です。三峰落合線は、JRとの交渉が始まっています。観光バスが通れる道路整備ができれば、子どもたちも井川に行きやすくなります。	—
	25	様々な取組について話を聞いたが、いずれもお金がかかることあり、財政をどう考えているのか。また、静岡を活性化するためのビジョンを聞かせて欲しい。	（市長） 税収は頭打ちの状況の中、いかに民間資金を導入する仕組みを作るかが大切です。投資したい環境を作ることも大切です。	（企画課） 本市の財政状況は、財政の硬直化が更に進み、より厳しい状況にありますが、これまで以上に創意工夫を重ね、歳入の確保を一層推進するとともに、スクラップアンドビルドによる歳出の徹底した見直しを行っていく必要があります。
	26	長寿高齢化社会への対応として、市民サービスが、行政だけでは立ち行かなくなるため、地域の方が地域の人を支える体制づくりを市が支援する必要がある。	（市長） 健康長寿の推進は本市の最重点施策であり、地域を愛する地元の方々の活動を活かしながら、要支援にならないための取組などを進めていきます。	—
	27	長田生涯学習センターでヨガ教室に通っているが、一斉予約システムのため、他の団体と重複して使用できない日があつて困っている。	（市民局長） 一斉予約システムは、継続して利用している団体を事前に登録し、この方々を対象に、2ヶ月前に抽選を行っているもので、コンピューターを使った自動抽選を行っています。要望はお伺いしましたが、ご理解をお願いします。	（生涯学習推進課） 6月12日付で当該団体へ会場での回答を詳しく説明した内容の文書を送付しました。

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
長田 (5/20)	28	流入人口について、どこに基軸を置いているのかを聞きたい。	（市長） 流入する人口には、定住人口と交流人口というカテゴリーがあります。定住、交流人口増の合わせ技で、流入人口増加を目指しています。清水港の客船誘致や、まちは劇場など、様々な取組で流入人口を増やしていきます。	—
	29	安倍川駅の完成は良いが、その周辺には話題がない。こちら側にも、人を運べるような仕組みを作ってほしい。	（市長） 官民連携で開発しなくてはなりません。長田地区では、民間企業の投資によりホテルを造っていきます。夜景の統一なども行い、交流人口の拡大を図っていきます。	—
	30	教員の質が下がっていると感じている。	（市長） 子どもは、真面目さより本気さを求めています。本気な先生を育てるため、シチズンカレッジで小学校の先生になりたい方を対象に、しずおか教師塾を開講しています。子どもに愛情を持った教員を育てていきます。	—
	31	5市2町だけでなく、静岡市以東の富士市などと連携する考えはあるか。	（市長） 5市2町の枠を取り払い、行き来することで、経済の活性化を目指します。また、東京にアンテナショップを展開していきたいと考えています。 本市以東の地域もどうか、という点については、その地域から提案があれば対応します。	—
	32	長田西には、自然災害に対して危険な箇所が多いので対策をお願いしたい。	（市長） 3. 11以降、防災対策を求める声が多くなり、津波避難ビルの整備を進めてきました。 今年は、県と連携して防災訓練も実施します。	（危機管理課） ご指摘の箇所については、市河川課を通じ県土木事務所へ対応を依頼しました。
	33	安倍川駅東口の駐輪場を活用して、長田総合支所を作ってほしい。	（総務局長） 長田支所で行っている市民サービスは、蒲原支所とそれほど違いがありません。大きな違いは、蒲原支所の中に役所の出張所が入っており、福祉事務所があることです。 長田支所で提供するサービスについては、費用対効果を考えながら検討をしなければなりません。	（総務課） 長田支所の市民サービスについては、社会環境の変化を見極めながら、約6万4千人の人口規模を持つ地域の支所のあり方について、市民ニーズや利用状況を把握した上で、費用対効果を踏まえ検討を行っていきます。

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	34	生涯学習センターで講座を実施しているが、インターネットもうまく使えず、なかなか参加者が集まらない。効果的な広報の方法はないか。	（市長） 市民の裾野の文化活動は、健康長寿の取組に資するものです。是非検討させていただきます。	（広報課） 広報紙への講座情報の掲載は、スペースに限りがあるため困難な状況です。 開催会場等へのチラシの配架やホームページへ講座情報の掲載を依頼するなどの方法で講座のPR・募集をお願いします。
	35	若者の交流人口拡大に向けて、若者に興味を持ってもらえるための仕掛けを考えてほしい。	（市長） 市民の方から、年中、ワクワクドキドキする取組をしてほしい、との声を頂き、「まちは劇場」の取組をしているところです。	—
	36	坤櫓（ひつじさるやぐら）は、外から観るだけで2階へ上がらせてもらえない。眺めるだけではなく、イベントに活動できる施設にできないか。	（市長） 坤櫓（ひつじさるやぐら）は、歴史に忠実に見取り図通りに復元をしましたが、2階には急な勾配で上がることができません。駿府城についても同じことで、歴史に忠実にという声もあるが、見取り図通りに造ると観るだけになってしまうため、悩ましいところです。	—
	37	自転車道を整備して、歴史文化施設を拠点に、臨濟寺や浅間神社を周遊できるようなコースを考えてほしい。	（市長） 都市局を中心に自転車先進都市を目指した環境整備に取り組んでいます。「自転車の駅」というのもいいのではないのでしょうか。そういったご意見をどんどんください。	（交通政策課） ご意見者様に、家康公ゆかりの地を自転車で巡る静岡市自転車マップを送付いたしました。
	38	自分の言葉で静岡のすばらしさを発信する人が必要。市民全体としてこのような人材が必要ではないか。	（市長） 良き国際人の一歩は、良き日本人、良き静岡人であることです。小中学生の授業にしずおか学を新たに取り入れていきます。家康、お茶、プラモデルなど、静岡の文化、産業を伝える教育をしていきたいと考えています。	—
	39	呉服町には、役所前の駐輪場しかないので、もっと増やしてほしい。	（市長） 青葉通りの駐輪場だけでは足りないというご意見、参考にさせていただきます。	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
西部 (5/26)	40	防犯協会などは駿河区と付き合い合っているが、学区については、葵区と付き合い合っている。学区と区の考え方を聞きたい。	<p>（市長） 合併の際に一度線引きをしていますが、区の変更による学区・事業所のコスト増・コミュニティの問題など不都合な点が出てきていることも承知しています。今日のご意見をきっかけに研究を進めていきたいです。</p> <p>（総務局長） 区割りの見直しについては、今のところ予定しておりませんが、今のご意見を受けて、まずは、研究させていただきます。</p>	<p>（総務課） まちづくりセッション後、ご意見者様と改めてお話する機会を頂き、行政区の区割りの変更は難しいものの、現状の区割りにより町内会活動等に支障が生じている場合については、個別に検討させていただき旨説明しました。</p>
	41	静岡市役所の旧館は、以前はライトアップしていたが最近はやっていない。寂しいのでやってほしい。	<p>（市長） 日本平が日本夜景遺産に選ばれました。夜景は、観光客を呼び込むには非常に大事なため、検討させていただきます。現在、経済局を中心に、巴川の河口付近のライトアップを仕掛けようと準備を進めているところです。</p>	<p>（管財課） 「あおい塔」のライトアップについては、現在、水銀灯を使用しているため電力消費量が大きく、パープルデー（てんかん啓発キャンペーン）などの特定日のみ点灯しています。 「あおい塔」は地域のランドマークとして重要な建物であり、市の施策等の啓発や中心市街地の賑わいの創出が期待できることから、ライトアップの実施に向けて電力消費量の少ないLED灯への改修を検討しています。</p>
	42	平成通りの水銀灯がずっと消えている。	<p>（美濃部副市長） 東日本大震災後、節電のため灯りを消して、そのままになっているところがあります。早速、職員が場所の確認に行かせていただきます。</p>	<p>（葵南道路整備課及び道路保全課） 5月29日に現地の状況を調査確認しました。節電照明対象外の照明に1灯不点を確認し、6月4日に復旧を完了しました。節電照明につきましては、順次再点灯を実施していきます。</p>
	43	昔の地場産業の復活の考えなどはあるのか。	<p>（市長） 地場産業のPRのために造った丸子の駿府匠宿のパワーアップを現在考えており、リニューアル方法を検討中です。静岡駅構内の駿府楽市で、地場産品を紹介しており、地盤産業の底上げ、職人の表彰制度も継続していきます。</p>	—
	44	南安倍町が2つの行政区にわかれている。1つの町内会が、2つの行政区にまたがっているというのは不自然である。	<p>（市長） コミュニティの線引きは難しい問題ですが、意見は伺いました。私自身、上足洗に住んでおり、ここも学区が分かれています。何を基準にするか、線引きは慎重にやらなければならないと考えています。</p>	<p>（総務課） No.40と同じ</p>



■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	45	公営住宅の老朽化が進んでいる。若い世代が入れるような市営アパートができないか。	（美濃部副市長） 公営住宅全体は減らす方向ですが、減らしていくにもお金がかかることであり、現在は、空き家の多い安倍口団地等で取組を進めています。その後、都心部でも改築等が必要だと考えており、これから議論をしていきますが、単純に建替えるだけではなく、民間の住宅を導入するなど、検討が必要です。	—
	46	駿府城天守台は歴史に基づいたものを作ってほしい。また、天守台を立ち上げた後はどうなるのか教えてほしい。	（市長） 2030年を目指して駿府城再建のビジョンを掲げています。まず、歴史文化施設の整備や中堀に舟を浮かべるプロジェクトを実施し、市民の皆さんと共同作業で進めていきます。	—
	47	市の公共施設の利用に係る手続きやルールが複雑で使いづらいです。	（市長） 市民の皆さんにとっては、公民館も福祉施設も公共施設には変わりありませんが、それぞれの施設ごとにルールがあります。少しご不便をおかけしてはいますが、縦割り行政の役所仕事ではなく、局間連携に取り組んでいきます。	—
	48	高齢者の就労促進をどのように考えているか。また、シルバー人材センターとの住み分けはどうするのか。	（市長） シルバー人材センターには、時間に余裕があり、ボランティア的な仕事や低賃金でもいいから仕事がしたいという方を対象とした職種が揃っています。また、行政では、これまで培った自分のスキルを活かし、プライドも満足させるような職種を提供できるような窓口を作り、生涯現役を希望する高齢者が活躍できる環境を提供したいと考えています。	—
	49	使用済食用油の回収を市内に広げる活動をしている。環境活動と後期高齢化社会を結びつける応援をしてほしい。	（市長） 地域貢献活動を長年続けてくれていることに感謝します。環境も良くなり、高齢者も生き生きと生活できるようなWin-Winの関係、そういった芽をどんどん伸ばしていきたいと思えます。	（ごみ減量推進課） ご意見者様と面談し、ホームページやイベント等の様々な機会において、使用済食用油回収の取組紹介を引き続き行う旨を回答しました。

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
駿河 (6/16)	50	遊郭の文化を世界に向けて発信してほしい。また、歴史文化施設の中に、若者が古文書に関心を持つ仕組みづくりをお願いしたい。	(市長) とても興味深く、勇気のある発言をありがとうございました。今後もたくさんのご意見をください。	(歴史文化課) 歴史文化施設では、古文書の解読や保存修復、災害等の文化財レスキューなどにも関心を持ってもらえる事業展開を考えています。
	51	市の政策にSDGsを組み込むということだが、具体的にはどのようなことか。	(市長) 例をあげると、SDGsの環境政策として水素タウンの推進に取り組もうとしています。最初は採算がとれない仕事ですので、行政が支援をしていくということも始めています。一方で、環境保全と経済発展の両立も模索しているところです。	(企画課) 市の施策にSDGsを組み込むとは、本市が最優先に取り組んでいる「5大構想」の実現に向け、SDGsが掲げる17の目標の幾つかを工程表の中に盛り込み、指標化する取組です。 より高いストレッチ目標を掲げることにより、実現への加速力としていこうという試みです。
	52	広報しずおか特集号2の7頁に「新スマートIC周辺のまちづくりを推進する」とあるが、もう少し詳しく教えてほしい。	(都市局長) 東名高速道路の北側は、工業エリアという形で企業の誘致に取り組み、南側は、交流エリアと位置づけ、どういう方に進出してもらうか、地域の皆さんの意向を確認しているところです。引き続き、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。	—
	53	50年前に市内にモノレールを走らせるという提案があったが、どう思うか。	(市長) 高齢化社会において、地域の公共交通機関を充実させることは大切です。本市は東西への交通はよいが、南北が弱いので、今後、財政状況も鑑みて、どう補強していくかに取り組んでいきます。	—
	54	災害時要支援者リストが実態と乖離しており、リストに掲載されていても元気な人がたくさんいる。有事の際、困るのではないか。	(市長) 災害時にお互いに助け合う共生と、個人情報保護の両立はとても難しい問題です。本来であれば、リストを共有化したいが、個人情報を知られたくない人もいます。リストがなくても、お互いに挨拶をしあって、法律に依拠せず努力して日本の伝統的な社会を作っていたいただければ嬉しく思います。	(福祉総務課) 8月20日にご意見者様へ入電し、リストに掲載されている元気な人に対する再調査の必要性を伝えるとともに、今後、再調査を行うための具体的な手段について、関係団体と協議していく旨を回答しました。
	55	私は古希(70歳)を迎えたが、現在、60歳まで勤めた職場とスーパーの2つで働いている。シルバー人材センター等での就労先を広げてほしい。	(市長) 現役時代のスキルを活かして就労できる窓口を広げることは重要なことです。現在、商工会議所と連携し、検討しています。	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
安倍 ごころ (6/17)	56	①梅ヶ島温泉昭和線の交通量が多くなり、歩道が狭く危険なため、何とかしてほしい。 ②安倍口地区の水路は水はけが悪く、降雨時に道路冠水する箇所が見受けられるので、水路の整備をお願いしたい。	（市長） 梅ヶ島温泉昭和線は、オクシズから街に行くにも、観光客がオクシズに行くにも必要な道路です。全てを市でやるのではなく、新東名に合わせてNEXCOにも協力してもらっています。民間資本を活用して進めたいです。	（葵北道路整備課） ①要望区間の一部で道路整備に向けた地質調査業務委託を発注しました。 ②町内会長（ご意見者様）を含め関係者と現地立会を実施し、現在水路整備に向けた対策を検討中です。
	57	田舎暮らしをしたい方にとって、仕事を続ける環境がないという問題がある。光回線の整備についてどう考えているか。	（市長） 光回線の整備にはかなりの予算が必要になるため、民間資金を投入できないかと考えています。 また、地域の経済活性化には人口が重要であるため、東京の有楽町に移住支援センターを設置し、本市への移住を推奨しています。人口活力を経済活力に繋げていきたいです。	（ICT推進課） 庁内関係課による「オクシズICT活用研究会」を平成29年度から立ち上げ、通信事業者の協力を得ながら、実現可能な手法について検討を進めています。
	58	安倍川沿いに人を定着させるための政策・施策が欠けていると思うがどうか。	（市長） 東京の有楽町に移住支援センターを設置し、どうやって安倍川流域の中山間地域に移住を促進させるかということ和社会システムとして構築し、移住希望者のニーズやこれまで積み上げてきたものを検証しているところです。  （政策官） 本市の中でも、中山間地の人口減少は厳しい現状です。市役所の全組織をあげて、オクシズの経済・仕事・生活環境・交通・福祉といった問題の解決に向け取り組んでいきます。	（中山間地振興課） オクシズ（旧安倍6カ村）の自治会連合会会議にて今後の生活機能の維持・確保に係る取組み方針を説明しました。 また、地域課題抽出のため単位町内会へのアンケート調査を7月末に実施しました。その結果を踏まえ、関係課と課題解決に向けての解決策を検討します。
	59	「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定された。次世代に継承するためには現場を守るための資金が必要である。各部署で投資の検討をお願いしたい。	（市長） 平成31年度の予算でどのようなことができるのか検討したいと思います。また、今、広報部門の強化をしていますので、テレビ番組等でももっとPRをして協力していきたいと思います。  （農林水産部長） 平成28年度に育苗施設を造らせていただきました。後継者問題や災害への対応など、皆さんの意見を伺いながら進めていきたいと考えています。	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	60	水辺の楽校への道が、現在は砂利道である。最近では来校者が増えているため、2車線の道路を作ってもらえないか。また、最近では集中豪雨が多くなったため、中小河川の堆積土砂の除去もお願いしたい。	（市長） 市民の皆さんから「水辺の楽校はいいね」と声をかけてもらうこともあり、知名度が上がったという実感をととても持っています。具体的なことについては、今後しっかりと検討していきます。	（河川課） 河川管理者である静岡河川事務所と新設進入路について協議を進めます。また、河川の維持管理について河川パトロールや皆さんの情報を基に、緊急性・危険度を総合的に判断し、今までと同様に早急な対応を実施していくことを後日、ご意見者様に説明し了承を得ました。
	61	川根本町では、先生や生徒にタブレット端末を配布し、町をあげてIT化を推進している。東京から企業の誘致もしていると聞いた。静岡市も参考にできるのではないか。	（市長） 川根本町の規模だからこそIT化ができるということもあります。中山間地域の持つ利点をアドバンテージとしてどのように有利なところを作っていくのかというのも面白いと思いましたので参考とさせていただきます。	—
	62	市長が前回この地域に来たのは4年前である。忙しいとは思いますが、現場を見て、現地の細かな意見を吸い上げてほしい。	（市長） ご意見をいただきましたので、早速検討していきたいと思います。	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	63	最近空家が目立つようになってきた。町内に集会場や公民館がない所もあるので、空家を有効活用してほしい。	<p>（市長） 空家対策は全国的な問題でもあります。空家対策の推進には、市民の皆さんや自治会町内会の皆さんからの情報提供がとても重要になってきます。また、国と連携しながら、静岡市空家等対策計画を作りましたので、これから不安を安心に変えられるよう取り組んでいきます。 また、駿河区の用宗地域では、官民連携事業として、古民家の空家をリフォームして、外国人の観光客も来始めています。そのような活用方法もぜひ知っていただきたいです。</p> <p>（美濃部副市長） 空家対策として、昭和56年以前の建築で、地震で潰れそうな家のリフォームには補助金が出ますし、リフォームのやり方によっては、静岡資材の材木を使っただけであれば、材木をプレゼントするといった制度もあります。また、倒壊する危険性がある空家を見つけたら、情報提供をお願いします。</p> <p>（市民局長） 空家対策は様々な課題がありますので、自治会様と相談しながら対応していきたいと考えています。</p>	<p>（市民自治推進課・生活安心安全課） 自治会集会所として空家所有者と自治会様が賃貸借契約を結んだ場合、補助制度が利用できますので、各区地域総務課にご相談ください。 管理不全な空き家等でお困りの場合は、生活安心安全課にご相談ください。</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	64	<p>地域福祉共生センター「みなくる」の完成に伴い、施設周辺に駐車場が足りなくなる可能性が高いので、駿河区役所に2階建ての駐車場をつくってはどうか。また、みなくるの中に市民の交流の場として、幼児の遊びコーナーを作ってほしい。そして、健康長寿、生涯活躍のまちづくりに携わるボランティアなどの人材確保について検討してほしい。</p>	<p>（駿河区長） 地域福祉共生センター「みなくる」を有効活用するため、できるだけ多くの方々に来ていただくための駐車場も必要であり、一方で、駿河区役所の駐車場も狭くて困っている現状があります。市としても周辺地域一体の課題として、検討していかなければならないと思っています。</p> <p>（保健福祉長寿局理事） 幼児の遊びコーナーなど、そういった意見をいただきながら、これから検討させていただきます。また、健康長寿に関する人材養成を行う「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」を活用したり、「みなくる」でもボランティア育成など様々なイベントを企画して、皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。</p>	<p>（駿河区役所地域総務課） 駿河区役所周辺の施設の駐車場不足解消に向けて、今後、関係局と検討していきます。</p> <p>（福祉総務課） ご意見を踏まえ、お子さん連れの方が利用を希望する場合に使えるプレイマットを「みなくる」の備品として購入しました。</p>
	65	<p>地区の集まりに男性の高齢者も参加するように何か対策はできないか。</p>	<p>（市長） S型デイサービスという取組を市民の皆さまのボランティアにより展開していますが、圧倒的に女性の参加者が多いです。孤立している男性をどうやって外の世界に参加させていくかということは、健康寿命の延伸にとって大事なことであり、個人の価値観に留意しながら取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>
<p>南部 (6/23)</p>	66	<p>静岡まつりの夜桜乱舞は様々な年代で楽しむことができ、足腰の強化にもなるので、交流館等で練習する場を設けてほしい。</p>	<p>（市長） 本市は5大構想の一つとして「まちは劇場」の推進に取り組んでいます。夜桜乱舞、清水の港かっぱれもありますが、まるちゃんの静岡音頭というダンスも普及させようとしています。</p> <p>（観光交流文化局長） 「まちは劇場」の推進という話がありましたが、体を動かすのはとてもいいことです。色々なダンスの取組をやっていますが、静岡でも、おやじだけが入れるダンスチームのおやじダンサーズが活躍しています。障がいを持った方も、おやじも、ご高齢の方も、踊ったことがない人も体を動かすというプログラムをいっぱい作り、広げていきます。</p>	<p>—</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	67	<p>現在、静岡市はまだ手話言語条例が採決されていない。 障がい者が安心して生活できるように考えてほしい。</p>	<p>（保健福祉長寿局長） 本市では共生のまちづくりを目指しており、障がい者共生のまちづくり計画を平成30年3月に作りました。この計画では、色々な障がいのある方も健全な方と同じように、同じ地域で支え合って暮らしていく、そういうまちを目指しています。 条例については、誰もがまちづくりに参画できるよう、ろうあ協会と検討・話し合いを進めています。ぜひ、皆さんの知恵が活かされて、良い共生のまちづくりを進めていけたらと思いますので、ご協力をお願いします。</p>	—
	68	<p>平成34年度に静岡型小中一貫教育がスタートするが、複数ある小学校区については、中学校区の変更はあるのか。今後どのように小中一貫教育への移行の準備を進めていく予定か。保護者や児童への説明はあるのか。</p>	<p>（市長） 小中一貫については、文部科学省とも強力にタッグを組んで進めています。今までは6・3・3制でずっときましたが、12歳の思春期の多感な時期に周りの環境が変わってしまうことで生じるいじめの問題であったり、心の歪みの問題が色々な研究で言われています。小中一貫教育で子ども一人一人の育ちを見守っていくということがバックグラウンドにあります。また、地域のコミュニティの維持と学区の再編成という問題にもこれから注視して取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>（教育局次長） 静岡型小中一貫教育では、小学校と中学校で連携した教育をやっていく「たてのつながり」と、学校と地域の「よこのつながり」を大切にしていきます。 中学校に、複数の小学校からくる場合も確かに存在します。今、東中の学区でモデル的に小中一貫教育を行なっているところですので、検証結果等を踏まえて平成34年度にスタートしたいと考えています。その際は地域の皆さんにも今一度説明をしながら、地域の皆さんのご協力を得られるような形で行なっていきたいと思っています。</p>	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	69	スマートインターチェンジの進捗状況を教えてほしい。	<p>（市長） 平成31年の秋には、共用できるようにNEXCO中日本が頑張ってくれています。</p> <p>（都市局次長） 開通が遅れるということで心配をおかけしていましたが、難関だった工事も無事進捗を計れていますので、今のところ、平成31年の秋にはインターの開設になると思います。</p>	—
	70	静岡は全国的にエアコンの設置が遅れており、学習に適していない環境であるため、何とかしてほしい。子どもたちや学生にまちづくりセッションに来てもらい、静岡の未来像について話を聞いてもらった方がよいのではないか。	<p>（市長） 大学生にもセッションのPRをしましたが、なかなか関心を持ってもらうことが難しいです。本日お配りした「広報しずおか特集号2」は、18歳の高校生でも静岡に関心があれば読み進めることができる内容に編集していますので、今日参加をした皆さんから「これ読んでごらん」と若い方々にぜひ誘いかけをしていただければ嬉しく思います。</p>	<p>（教育施設課） 小中学校のエアコン設置については、平成31年度から3年間で全ての普通教室（特別支援学級を含む）に整備する予定です。 現在、9月補正予算に小学校分の実施設計に係る費用を計上しています。</p>
	71	オクシズは観光資源が非常に充実しており、道の駅等も整備されているが、一部の登山口やベンチが整備されていない。一度、現地を視察して確認してほしい。	<p>（市長） 私もオクシズの魅力を十分知っています。交流人口の拡大、観光開発、静岡にとにかく色々な方々に集まっていただいて満足感をもってもらおうという政策、特に観光をすごく重視していますので、オクシズにたくさんの方を誘っていきたいと思います。</p>	<p>（スポーツ振興課） 本市では、ハイカーの皆さんが安全に利用できるよう、関係団体の協力を得て、ハイキングコースの定期的な見回りを実施し、コースの状況を把握しております。また、必要な草刈り、枝払い、歩道修繕も随時行っています。 一部の登山口やベンチが整備されていないとのことですので、今後もコースの見回りにより情報収集に努め、安全で快適なハイキングコースの整備に努めてまいります。</p>



■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	72	<p>リニア新幹線の工事に伴い、県道落合三ツ峰線にトンネルを開けることが決まったが、それに付随して国道362号線の改良工事が遅れることはないのか。 また、国道362線の久能尾一千頭間の拡幅等の予定は進めていただけるのか。</p>	<p>（市長） リニア新幹線を国家事業として応援しながら地域振興にどう結び付けるかということで、JR東海と粘り強い交渉をして、その結果、JR東海が約140億円をこの三ツ峰落合線のトンネルに拠出してくれるという合意になりました。静岡駅から井川に、南アルプスに直行する一つの道路として、ここにかかる本市の道路予算がかなり楽になります。そのため、国道362号線であったり、あるいは川根本町、島田市に行く閑蔵線という道路も順次整備していきます。</p> <p>（建設局道路整備調整担当部長） 国道362号線につきましては、道路幅員も狭く、一本道ということもあり、2カ所3カ所の同時の工事となりますと、それぞれの工事が干渉してしまい工期の遅れが懸念されます。工事期間も長くなりますので、とりあえず待避所といったようなもので解消をしていきたいと考えています。最適な工事量をもって速く進めていきたいです。</p>	—
	73	<p>町内会の役員をやっているが、役所からの書類が多く、手続きが複雑なため、インターネットでの申請等により簡略化できないか。 広報紙もリアルタイムでインターネットに掲載すれば、町内会の役員の労力もカットできるのではないか。</p>	<p>（市長） 今、ICT技術が発達しているので、オンラインで、パソコンで何か広報できないのかという意見をたくさんいただいています。一方で、老若男女誰にもユニバーサルに情報を提供するには、やはり活字媒体が一番確実だという声もあります。その中で、本日の発言をきっかけに、これからどれだけ集約化・合理化できるのかを検討していきます。</p> <p>（総務局長） 先日、町内会の役員の方から同じような意見をいただいたところです。できるだけ早く、色々な選択肢を増やし、少しでも先進的なICTを取り入れた市役所にしていきたいと思えます。</p>	<p>（市民自治推進課・総務課） 現在、町内会・自治会から市役所への書類提出方法の軽減化（インターネットでの申請等や押印の省略化等）について、検討しているところです。</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
藁科 (6/24)	74	SDGsの話をしていただいたが、この藁科地区をこうしていきたいということがあれば教えてほしい。	(市長) SDGsの16番目の目標に、「平和と公正をすべての人に」とあります。中山間地域に住む方と町に住む方に地域格差がありすぎでは、SDGsの理念に反してしまいます。そのところを留意して、これから中山間地域に人が住み続けられるような、そんな環境づくりに努力をしていきたいです。	—
	75	小中一貫教育が始まったら、スクールバスはどうなるのか。また、人がいなくなった後の学校の管理はどうなるのか。	(市長) スクールバスの件は、地域の皆さんと対話をする中で決めていきたいと思っています。  (教育局長) 小中一貫教育には、施設一体型と施設分離型があります。現在、本市では、まず施設分離型の小中一貫教育を進めていこうと考えておりますので、小中一貫教育に合わせての学校の統合は考えておりません。一方で、子どもたちの力を伸ばしていくためには、一定の学校規模を維持することは重要であると考えています。学校は、教育の場以外にも様々な機能を持っていますので、地域の皆さんから統合等についてのご提案をいただいた場合には、子どもたちにとってよりよい方向を一緒に考えていきたいと思っています。併せて、通学する距離が長距離になった場合にはどのような対応ができるのかということも考えてきたいです。	(教育総務課・学校教育課) 特に児童・生徒の減少が著しい中山間地の一中一小については、早急に対応を図る必要があるため、施設一体型の小中一貫教育に取り組んでいます。
	76	山間部にはインターネットの回線がADSLしかない。このあたりの整備についてはどのように考えているか。	(総務局長) 光回線を整備するには数十億円というお金がかかるため、国に要望を出していますが断られている状況です。そこで、庁内で検討会議を立ち上げ、光回線が入っている中山間地の公共施設を開放できないかということを考えています。それ以外にもどういったことができるのか、検討しているところです。	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	77	<p>葵舟は、点から点の区間ではなく、お堀を一周するようにはできないのか。</p>	<p>（市長） 一周するコースを予定しています。葵舟の実験をした際のアンケートでも、一周でないと面白くないという意見をたくさんいただきました。技術的にも物理的にも可能ですので、今年度、運営をしてくれる事業者を募集します。</p>	<p>（観光・国際交流課） 平成30年度都市局（緑地政策課）の予算で、運航事業者の公募準備を進めております。これまで実施した社会実験の検証結果と先進事例を踏まえ、事業実施に向け、採算の取れる持続可能な運営計画の検討を行っていきま す。事業者公募は平成31年度年度当初となる予定です。事業者の決定、運航開始までの間、集客力の高いイベントにおける運航実施を計画し、本格運航へスムーズに移行してまいります。</p>
	78	<p>平成31年度から森林環境譲与税という制度が始まるが、具体的にはどのように使われていくのか。</p>	<p>（農林水産部長） 用途については、現在、国、県と協議しているところです。本市は山から川まで完結型の流域都市で、川上の林業から川下の製材業までの生産の場であり、また消費地でもあります。これを考慮し、森林環境譲与税の用途について、今後検討していきたいと考えています。</p>	<p>—</p>
	79	<p>ろうあ者専用のグループホームのような施設を作ってほしい。</p>	<p>（市長） 現在、グループホームや高齢者の居宅に関する施策の下支え、環境づくりをしていますが、公設公営ではなく、民間の事業者に委託をする方法で環境を整備しています。 共生というキーワードで共通項を持つSDGsの理念にも一致をしますので、参考にさせていただきます。</p> <p>（保健福祉長寿局長） 本市では平成30年3月に、障がいを持つ方の住みにくさや色々な壁を着実に取り除き、障がいのある方もない方も住みよいまちを創っていくために、「障がい者共生のまちづくり計画」を策定しました。民間活力を導入し、どうすれば障がいのある方もない方も自分たちの住み慣れた地域で共に暮らしていけるのか、当事者の方の意見をよく聴きながら検討していきます。</p>	<p>—</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	80	自身も含めて、地域内で高齢化が進み、買い物等に出かけるのが不便になっている。買い物や通院の支援といった移動支援のシステムづくりをしてほしい。	<p>（市長） 中山間地に住んでいても買い物ができる、外出できるという生活環境作りはとても大切です。清水区の両河内地区で、路線バスが廃線になったため、自主運行バスを始めて、とても重宝されている例もあります。行政が全てやるのではなく、地域の皆さんとの協働で、これらのニーズを支えることはできるかもしれません。</p> <p>（保健福祉長寿局理事） 両河内の例の他に、清水区の駒越では、利用料を集めて車でスーパーを回り、地域の方の足になるという自主的な取組みもあります。</p> <p>行政としては、生活支援コーディネーターを地域単位で配置して、皆さんの取組についてアドバイスするというものや、高齢者の地域支援活動にポイントを付与して、本市の特産品と交換できるようなインセンティブを促す取組を進めているところです。</p>	—
教育センター (6/30)	81	私は耳に障がいがあるため、市主催のイベントなどでは必ず手話通訳を設置してほしい。また、本日配布された広報しずおか特集号2には、問合せ先として電話番号しか記載がない。市が発行する広報紙や冊子には、必ずファックスやメールといった電話以外の連絡方法をつけてほしい。	<p>（市長） SDGsの目標も3次総の目標も、全ての方が自分らしい人生を歩めるようにという理念を掲げてやっていきますので、本日のご意見は必ず下支えをしていきます。</p> <p>（総務局長） 私たちも情報発信に力を入れてやってきましたが、細かなところまで目が届いていませんでした。貴重なご意見をいただきましたので、今後はそういった点にも気を付けていきます。</p>	<p>（広報課） 広報紙「静岡気分8月号」から、企画記事欄の最終頁に「電話でのお問い合わせが困難な場合はFAXで市コールセンターFAX 200-4895へどうぞ」という文言を記載しました。 また、全所属に対し、印刷物（冊子・パンフレット・チラシ等）を作成する際は、問合せ欄に必ずFAX番号を記載するよう通知しました。</p> <p>（障害者福祉課） 本市では手話通訳者等派遣制度を設けておりますので、手話通訳等が必要な方は手話通訳者等の派遣を申請していただくことができます。また、手話通訳等を必要とする方の参加が予定される市のイベント等については、主催者からの申請により手話通訳者等を派遣しています。</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	82	<p>①弥生時代の登呂遺跡の他、縄文時代の研究はしているのか。                  ②徳川家康公だけでなく、慶喜公や今川氏も大切にしてほしい。                  ③駿府城跡天守台発掘調査後、どのようにしていくのか。ぜひお堀に舟を浮かべてほしい。</p>	<p>（市長）                  現在、本市は歴史の掘り起こしと観光行政に力を入れており、2021年に歴史文化施設が完成します。徳川、今川、東海道をテーマとし、徳川文化と今川文化をもっと市民の皆さんに知っていただける場所にしていきたいです。ボート、博物館、発掘調査という流れから、駿府城の再建を進めていきたいですが、とてもお金がかかるので皆さんに寄付をお願いしています。</p> <p>（観光交流文化局次長）                  特に縄文時代に限ってということではありませんが、清水区の埋蔵文化財センターで発掘物の展示を行っています。慶喜公や今川氏については、2021年に完成する歴史文化施設の展示の中で活用していきます。発掘調査は平成31年度までとなっていますが、平成31年度は今川氏の遺構も調査していきます。葵舟については、今後、民間の力を活用して何ができるのかということで試験を実施したところです。</p> <p>（都市局長）                  発掘調査の寄附金は目標金額を1億円と設定しています。現在、約5千万円集まっていますが、皆さんに関心を持ってもらうことが大切ですので、このような機会を通じて、またPRさせていただきます。</p>	<p>（観光・国際交流課）                  2019年が義元公の生誕500年という節目の年であるため、「今川義元公生誕500年祭」推進事業を、商工会議所等と連携し実施する予定です。この事業を通じて、義元公をはじめとする今川氏の功績を正しく評価し、本市が今川氏のゆかりのまちであること、今川から徳川、そして現在の静岡市があるという歴史の連続性を市民の皆さんに知っていただくよう周知・啓発してまいります。葵舟の運行に係る検討につきましては、平成30年度都市局（緑地政策課）の予算で、運航事業者の公募準備を進めております。これまで実施した社会実験の検証結果と先進事例を踏まえ、事業実施に向け、採算の取れる持続可能な運営計画の検討を行ってまいります。事業者公募は平成31年度当初となる予定です。事業者の決定、運航開始までの間、集客力の高いイベントにおける運航実施を計画し、本格運航へスムーズに移行してまいります。</p>
	83	<p>東静岡駅周辺や森下地区のように、葵区に大型の公園を整備してほしい。安倍口団地の跡地を分譲地や公園にできないか。</p>	<p>（市長）                  以前は、市が土地を取得してから公園を整備するという手法でしたが、お金がかかるため、市が地主から土地を借り、土地代をかけずに整備するという制度を作りました。ぜひ、ご自分の土地を公園にしてもいいよという方が近くにいたら、教えてください。</p> <p>（都市局長）                  公園整備には、まず土地が必要になります。土地を借りて整備する方法や、公共用地を活用するという手段もあります。安倍口団地跡地の利用については、現在、検討中ですが、公園や広場という形での検討も進めていきたいと思っております。葵区の大規模な公園については、あさはた緑地に自然体験ができる公園を作っていますので、ぜひ皆さんに利用して楽しんでいただきたいです。</p>	<p>—</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	84	<p>私は耳に障がいがあるが、自治体等が開催する講座の問合せ先には電話番号しか載っていない。FAX番号も載せてほしい。</p> <p>また、災害時における避難所で、視覚・聴覚障がい者や車いすの方などに対する整備が足りないと感じている。</p>	<p>（市長）                      前回のまちづくりセッションでも同じご意見をいただきました。実は本日配布した広報しずおか特集号2の問合せ先も電話番号しか記載されていないというエラーがありました。SDGsの目標の中にも「すべての人に健康と福祉を」、「人や国の不平等をなくそう」という共生を意識した目標があります。ユニバーサルデザインのまちを一緒に作っていきたいと思っています。</p> <p>（危機管理統括監）                      本市では、自治会単位で避難所運営の訓練に取り組んでおります。避難所には、高齢の方や障がいのある方、乳幼児など様々な配慮が必要な方も避難することから、近年では、避難所運営に必要な様々な状況を想定し、レイアウトなどを考えるHUGという図上訓練も取り入れています。今後も継続してまいりますので、地域の皆さんも訓練への参加などご協力をお願いします。</p>	<p>（広報課）                      広報紙「静岡気分8月号」から、企画記事欄の最終頁に「電話でのお問い合わせが困難な場合はFAXで市コールセンターFAX 200-4895へどうぞ」という文言を記載しました。                      また、全所属に対し、印刷物（冊子・パンフレット・チラシ等）を作成する際は、問合せ欄に必ずFAX番号を記載するよう通知しました。</p> <p>（福祉総務課）                      セッション後、会場にて9月1日、2日の総合防災訓練の中で聴覚障がい者をはじめとする要配慮者支援の内容を実施する旨周知しました。その後、ご意見者様の所属する「ろうあ協会」と連絡を取り合い、訓練内容の企画にも参加していただきました。訓練では、協会の方々に実施内容を見学していただくとともに、聴覚障がい者の方に避難者役として実際の訓練に参加していただきました。</p>
	85	<p>全国的に人口減少が問題となっている。静岡市に特区を作り、大企業を誘致して、学生や女性の市外への流出を止めてほしい。</p>	<p>（市長）                      人口活力は経済活動の基礎です。東京の有楽町に本市の移住支援センターを作り、移住を促進していますが、人口の自然減少に追い付きません。そこで私たちは、転勤、出張、旅行等で本市に来てくれる交流人口の拡大に力を入れています。人口活力維持のために、クルーズ船や国際会議を誘致して観光産業を育て、就職先や雇用先を作っていかなければなりません。</p>	<p>—</p>

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	86	<p>静岡市の人口減少問題の原因は情報拡散力が弱いことである。SNS等の様々な手段を活用して静岡のいいところを発信したらどうか。</p>	<p>(市長) 私も本市はPRが下手だなと感じていますので、今、広報の強化に取り組んでいます。これまで桜えびをPRしてきましたが、認知度が上がってきたので、今度はレッサーパンダで本市の魅力をPRしていきます。SNSが世間をひっくり返す時代になっていますので、お金をかけずにSNSをうまく活用することも大切です。首都圏勤務・在住の方を対象に、静岡市の「いいねえ。」届け隊を募集し、SNS等を通じて静岡自慢をしてもらっています。</p> <p>(総務局長) 静岡の魅力を知ってもらうために、東京在住のマスコミの方を静岡に招き、実際に静岡の観光地や特産物を体験してもらって、それを東京で発信していただくという取り組みも行っています。ただ単に情報を発信するのではなく、いかに本市の情報を伝えていくかということが重要です。</p>	—
大里 (7/14)	87	<p>「世界に輝く静岡」を実現するために災害に強いまちづくりをしてほしい。</p>	<p>(市長) 東日本大震災後、防災計画を見直し、駿河区を中心に津波避難タワーを整備しました。平成30年度で19基全てが完成します。水害についても巴川を中心に治水対策をしています。将来、地震が発生した時に本市は安全だったということであれば、本市に住みたいという人が増えて、人口減少対策にもつながります。防災はまちづくりの基本ですので、これからも強調していきたいです。</p>	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	88	<p>保育・幼児教育の無償化が平成31年10月から始まるが、認可外幼稚園の場合、2号認定された家庭の子しか無償化にならない。政令市として何か考えてほしい。</p> <p>また、平成30年に長野県・鳥取県・広島県を発起人として、自然環境を利用した保育環境や幼児期からの育ち、学びを支えていく「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」が設立されたが、静岡市は参加する意向があるのか。</p>	<p>（市長） 国が決定した幼児教育の無償化は課題が山積です。待機児童を解消するために精一杯の予算措置をしましたが、無償化になると子どもを預ける家庭が増え、また待機児童が増えることとなります。財政の枠の中で何か政令市独自の支えができないか、検討課題だと認識しています。</p> <p>（子ども未来局長） 2号認定がない場合は無償化にならないというのは不公平だと考えており、国に提案をしているところです。 「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」については、本日初めて伺いましたので、具体的に話を伺い、勉強させていただきます。</p>	<p>（幼保支援課） 幼児教育の無償化は、まだ制度構築段階であるため、今後も国の動向を注視していきます。</p> <p>（こども園課） 「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」への参加については、活動内容等、情報収集をしながら動向を見守り、今後、検討していきます。</p>
	89	<p>高齢者の交通弱者が増えている中、静岡市はどのような取組みを考えているか。</p>	<p>（市長） 本市は、車がなくても便利に生活できるということを交通政策の基本と据え、公共交通機関をしっかりと下支えしていくことが重要だと考えています。しかし、運転手不足ということもあり、補助金を出して支えてもらう手法は難しくなっています。清水区の両河内地区で、自主運行バスを始めた例もありますので、こういった取組みを支えていきたいです。</p>	<p>—</p>



■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	90	<p>静岡市は時代の変化に対応するスピード感がない。これからはAI（人工知能）、ロボットの時代が来るため、未来につながるベンチャー企業を誘致してほしい。</p>	<p>（経済局長） 我が国では、IoT、ビッグデータ、AI（人工知能）、ロボットなどを活用したSociety5.0の実現を目指しており、これに伴い産業のあり方も大きく変わっていきます。 これを見据え、本市では、「海洋・エネルギー産業」、「食品・ヘルス産業」、「文化・クリエイティブ産業」など、5つの産業を戦略産業とし、本市産業全体のけん引役として振興しています。 特に、「海洋・エネルギー産業」では、駿河湾をフィールドとして、未来につながるベンチャーなど、海洋産業のクラスター形成を官民一体となって取り組んでいます。</p> <p>※Society5.0・・・狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会を指すもの。</p>	—
	91	<p>井川出身で、地元に戻ってガイドの仕事をしたいと思っているが難しいため、お力添えをいただきたい。</p>	<p>（市長） トンネル工事が大規模に行われ、これから井川に交流人口を増やす取組みを5年、10年、20年かけてやっていきます。それまでにスキルを身につけて添乗員の経験をしたり、ガイドの資格を取得したり、また静岡シチズンカレッジの中で、静岡の観光ボランティアガイドの養成講座などもあるので、いつか、この井川を世界に発信するガイドになりたいという夢をもって、頑張ってください。</p>	—
	92	<p>オートバイ、ロードバイクで井川に来る人が増えている。県道、閑蔵線も含めて、二輪車も四輪車も安全走行できるような道づくりをして交流人口を増やしてほしい。</p>	<p>（市長） 今、市街地で自転車専用道路の強化に取り組んでおり、その流れで井川に自転車の駅を設置するという構想もあります。また、井川少年自然の家でトレイルランニングのコースを整備しており、そのPRも始めています。この井川地区で、スポーツを通じた観光開発をより磨きあげていきます。</p> <p>（都市局次長） 本市では、自転車都市に力を入れています。市営温泉「白樺荘」等に自転車の駅をつくり、自転車のラックや工具、空気入れなどを置き、自転車を楽しく使っていただけるよう環境整備に努めています。建設局と合わせて、自転車が走りやすい道路整備を一緒に進めていきます。</p>	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
井川 (7/17)	93	ユネスコエコパーク＝環境・森林だと思いが、環境整備にはお金も人材も必要である。市の考えを聞かせてほしい。	<p>(市長) 環境保全と経済開発、このギリギリのバランスをとるのは非常に難しいです。国が新しい森林環境税という制度を設計し、これから詳細が決まってくるので、それをオクシズのために有効に使っていきたいと考えています。</p> <p>(政策官) 本市では平成11年に森林環境基金というものを創設しており、また、平成36年から国で森林環境税というものが創設される予定になっています。それに先行するような形で、平成31年度には国から地方に森林環境譲与税というものが譲与される予定になっています。森林環境基金と新たな森林環境譲与税をしっかりと活用しながら森林環境を守り、人材育成等も充実をしていきます。</p> <p>(環境局長) 平成26年6月に南アルプスがユネスコエコパークに登録されましたが、登録されて終わりではなく、今後、これを維持していくために管理運営計画を作り、この計画に基づいて、全庁一丸となり、自然環境の保全、さらにそれを持続可能な範囲で活用して、地域社会の発展を目指していこうと考えています。</p> <p>(農林水産部長) 平成31年に市に一部配分される環境譲与税と、市が独自に積み立てた森林環境基金を利用し、林業を元気にするための取組みを検討しています。また、間伐事業や林道の整備、林道から森林に入るための作業道などの整備も行っています。林業が元気になるためには、木材が高く売れないと経済効果も生まれませんので、木造住宅を建てる方への支援も行っています。今後については林業家の皆さんの意見を伺いながら、具体的な取組みを決めていきたいと考えています。</p> <p>(海洋文化都市統括監) 雇用の問題は大変難しいです。様々な業界で人が不足しており、すぐに解決できる策はないと思いますが、やはり仕事を創造していくしかありません。これからリニアができて、それをどう活用するのか、地域や地権者の皆さん、行政と一緒に、お客様に井川にきてもらえるような仕組みや魅力づくりをしていきたいです。</p>	—

■しずおか まちづくりセッションにおけるご意見等

※まちづくりセッションで参加者の皆さんからいただいたご意見等に対する当日の市の回答と、その後の対応や補足説明を掲載しています。

会場	No	参加者からのご意見等	当日の市の回答	その後の担当課による対応等（9月30日時点）
	94	静岡市は海洋文化都市でもあるが、山岳文化都市でもある。しかし、登山仲間の活動拠点がないため、東静岡駅周辺に登山文化センターを作ってほしい。	（市長） 先日の6月議会でも、議員から「海洋文化都市構想があるなら、森林文化都市構想があってしかるべきだ」という発言がありましたので参考にさせていただきます。	—
	95	トンネルができることに伴い、権現滝の近くにループ橋を作ってもらえると観光的にも素晴らしく、移動距離も短くなるのではないかと。	（市長） 将来、全線が快適にドライブができるような道路としていくために議論を進めていきます。  （建設局道路部長） ループ橋は難しいですが、工事車両が通るため、待機所や危険な個所については道路改良を進め、安全な通行に努めていきます。また、井川から川根本町に抜ける閑蔵線も約1キロ区間の改良が進んでおり、井川から市街地への通行の確保を進めていきます。	—
	96	トンネルができて、井川の地域が変わろうとしている。ぜひ、井川支所に職員を増員派遣するなどして、人口増、活性化に繋げてほしい。	（市長） 今、国が東京一極集中を是正して、地方創生を一生懸命支援してくれています。これから3次総の中で、若者が故郷の静岡に戻ってくるという流れを作っていきたいです。	—